

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大森北A計画新築工事	階数	地上10F
建設地	東京都大田区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	94人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2022年5月10日
敷地面積	465 m <sup>2</sup>	作成者	野川亜矢子
建築面積	240 m <sup>2</sup>	確認日	2022年5月11日
延床面積	1,937 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社三輪設計

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.2**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・大田区に建設される集合住宅である。 ・高効率な設備機器の導入による環境負荷の低減に配慮した建物である。		<b>その他</b> -
<b>Q1 室内環境</b> ・F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境に十分配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・各住戸に1Gbitクラスのブロードバンドを整備し、機能性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具を採用している。 ・発泡剤は汚染物質含有材料の使用を避けた計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・日常的に発生するゴミの種類や量の推計や分別回収を推進するための空間整備や設備等、ゴミ処理負荷低減対策を行っている。 ・深夜の減灯等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される